

日本の留学生受入れへの COVID-19 の影響と 今後の課題*

仲里ローレン[†] 萱島信子[‡]

要約

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は人々の生活のすべての局面に影響を及ぼしている。本レポートは、留学生移動の最近の傾向と変化の背景要因を明らかにすることによって、日本の留学生事業への COVID-19 の影響を分析することを目的としている。まず、日本における外国人留学生の受入れ状況を国際的な留学生動向に照らして理解するために、国際的な機関や各国の調査報告や統計資料を分析した。さらに、日本における変化の要因を明らかにするために、日本の大学で国際事業を担当する 4 名の大学教職員と COVID-19 下に日本の大学で学ぶ 7 人の外国人留学生にインタビューを実施した。これらの分析から、日本では短期の交流型の留学生受入れよりも学位取得を目的とした留学生の受入れが多いために、日本の大学の留学生数の減少は他の主要な留学生受入れ国に比べて小さいものにとどまっていることがわかった。さらに、学位取得型の留学生は、渡日しての“留学経験”そのものよりも、安全な就学環境や学位の取得をより重視していることも明らかになった。大学が今後国際的なプログラムにおいてオンライン教育のさまざまな方法や目的を検討する際には、こうした留学の価値についての学生の考えを踏まえる必要がある。ポスト・コロナの大学国際化戦略の検討に際してオンライン教育は重要な論点のひとつになっているが、本レポートのファインディングは、留学生受入れにおけるオンライン教育の今後のあり方に重要な示唆を与えるものである。

キーワード

留学、COVID-19、日本、オンラインラーニング

*本ナレッジ・レポートに述べられている見解は執筆者個人の責任で発表するものであり、JICA や JICA 緒方研究所の見解を示すものではありません。

[†]早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程、JICA 緒方貞子平和開発研究所非常勤研究助手 (lauren.nakasato@fuji.waseda.jp)

[‡]JICA 緒方貞子平和開発研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー (Kayashima.Nobuko@jica.go.jp)

謝辞: 本レポートの執筆にあたってインタビューにご協力くださった大学教職員と留学生の方々、および貴重なコメントをくださった JICA 緒方研究所関係者に、心から感謝の意を表します。なお、本レポートで述べる意見は筆者個人のものであり、組織の意見を代表するものではないことを申し添えます。

1. COVID-19 のもとでの世界的な留学動向

2020 年 3 月 11 日、世界保健機関(WHO)は COVID-19 によるパンデミックを宣言した。以来、パンデミックは、各国の社会生活や教育活動に甚大な影響を及ぼしているが、高等教育の留学生事業もその例外ではない。オンライン授業への移行から留学生の募集選考にいたるまで、多くの国で留学生事業のほぼすべての側面、特に学生の国境を越える移動に大きな影響がでている。2020 年 4 月時点で、コロナ禍にともなう高等教育機関の閉鎖により、全世界で約 2.2 億人の学生が教育の中断を余儀なくされた(UNESCO 2021)。パンデミックの初期の段階では、キャンパスの一部閉鎖や完全閉鎖により教育研究活動を制限したり中断することが一般的であった(Marinoni 他 2020)。キャンパスの閉鎖によりすべての学生が影響を受けたが、そのなかでも特に、すでに留学している学生や留学を予定している学生へのインパクトは大きかった。国際大学協会(International Association of Universities)がおこなった COVID-19 の高等教育へのインパクトについての質問紙調査によると、回答した 109 ヶ国の 400 以上の高等教育機関のうち 89%が、学生の国際的な移動にネガティブな影響があったと答えている(Marinoni 他 2020)。特に主要な留学先国の多くが 2020 年には留学生数を大きく減らしている。たとえば、米国ではオンラインを含む留学生の学生登録数が 2019 年度比 16%減少し(Baer and Martel 2020)、カナダでは留学生就学許可証の発行が 17%減少した(“Canada’s foreign enrolment” 2021)。オーストラリアは、これらの国に比べるとやや少ない5%の減少にとどまった(Australian Government 2020)。しかしながら、一方で留学生数の割合の増加が報告されている国もある。例えば、ドイツやイギリスなどでは 2019 年度比の留学生登録数はそれぞれ 7%、12%増加しており(Institute of International Education, 2021; Higher Education Statistics Agency, 2021)、パンデミック下での留学生のフローを規定する要因はまだ十分に明らかになっていない。さらに、米国では博士課程を持つ大学の 60%近くは留学生出願者の増加が見込まれているのに対し、コミュニティ・カレッジの 60%近くでは減少しているとの調査結果もあり(Martel and Baer 2021)、国のみならず、大学のタイプによっても状況が異なっていることがわかる。

一方で、COVID-19 の流行により留学を延期した学生の入学申請や学生登録が、今後拡大することを専門家たちは予測している(“New study anticipates” 2020; Ross 2020; Quacquarelli Symonds 2020)。また、9.11 同時多発テロやアジア通貨危機の際の留学生数の減少とその後の回復を例に引いて、今回もやがてパンデミック以前の状態に留学生事業は回復するであろうと述べる研究者もいる(Mok, Xiong and Cheung 2021; Choudaha 2020)。米国における高等教育機関 414 校の調査は、調査対象校の 43%で 2021/22 年の留学生の入学申請が増加したことを明らかにしており(Martel and Baer 2021)、留学生受入れがやがて“business-as-usual”に戻るであろうことを示している。

同時に、パンデミックを、留学の現状を再考し留学の新たな可能性を模索するよい機会だととらえる人も多い(Rizvi 2020; Lee 2020)。具体的には、現在、パンデミックによりオンライン学習や遠隔教育、オンライン留学、COIL(collaborative international online learning、オンライン

共同国際学習)などのオンライン教育の取り組みが急速に拡大しているが、こうした新たな取り組みの体制強化や実施能力の向上につながると考える人たちである(Whalen 2020; OECD 2021; Kanwar and Carr 2020)。オンライン教育は、国際的な教育経験へのアクセスをより多くの学生に拡大する有効な方法であり、留学の機会をより平等なものにする手段と考えられてきた(Symonds 2020)。しかしながら、研究者たちは、低・中・高所得国の間には情報通信インフラストラクチャーに明らかな格差が存在していることや(Salmi 2020; World Bank 2020)、インフラストラクチャーに問題がない場合でも、政府規制によってオンラインで提供されるコースの種類や割合が制約されることを指摘している(OECD 2021)。こうした論点についてどのような立場をとるにせよ、高等教育機関は、コロナ、ポスト・コロナの時代の教育活動において、“国際経験”のもつ価値や意味を再検討することが求められている(Schleicher 2020)。

2. 日本の留学生受入れと COVID-19 の影響

日本でも、他の主要留学先国よりは減少幅は小さいものの、2020年の外国人留学生数は減少した。日本語学校や専修学校専門課程などを除く高等教育機関(大学および大学院)の2020年外国人留学生在籍者数は前年比で4.9%減少した(文部科学省 2020b)。外国人留学生が多い大学においても同様の影響がでている。スーパー・グローバル大学プロジェクトのもとで大学国際化のための競争的資金を得ている49の大学を対象にした調査では、このうち32校は留学生の入学申請が減少したと報告している(MEXT 2020a)。しかし、在籍データをより詳細に見ると、減少しているのは主に短期の留学生や非学位取得型の留学生であり、むしろ学位取得型の留学生は増加している。これは、日本では学位課程にすでに就学していた留学生はパンデミックにもかかわらず日本での就学を続けたためでもあるが、他の主要留学先国では状況は異なっていた。下記表1に示すとおり、学位取得型の留学生数と非学位取得型の留学生数の2019/2020年の増減を比較すると、日本では学位取得型留学生は増加する一方で、非学位取得型留学生は大幅に減少している。入手可能なデータで他の主要留学先国と比較すると、この傾向は非常に異なるものであることがわかる。非学位取得型留学生はいずれの国でも減少しているが、米国とドイツでは減少幅は小さい。しかしながら、米国では学位取得型留学生も大きく減少しているのに対し、ドイツは日本と同様に2019年から2020年にかけて学位取得型留学生を増やしている。

表1 学位取得型・非学位取得型の留学生数国別比較(2019年～2020年)

	学位取得型留学生数 (学士課程・修士課程・博士課程)			非学位取得型留学生数 ¹		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
米国 ²	1,306,869	1,121,98	-14.1%	62,341	58,201	-6.6%
オーストラリア ³	440,667	418,168	-5.1%	48,214	31,963	-33.7%
日本 ⁴	115,154	119,890	+4.1%	25,411	13,683	-49.5%
ドイツ ⁵	255,478	274,285	+7.4%	26,035	24,959	-4.1%

表 1 は、各国の留学生統計をもとに、筆者が「学位取得型留学生」と「非学位取得型留学生」に分類して作表したものである。留学生の定義や内訳が異なる複数の出典から得たデータを使用しているため、若干のデータの不整合（下記注）が含まれることに留意されたい。

- 1 職業プログラムやサーティフィケート・プログラム在籍者を除く。
- 2 学位取得型学生数は、準学位プログラムに在籍する学生を含む。
- 3 学位取得型留学生数は、サーティフィケート・プログラムやディプロマプログラムの学生、修士レベルの科目履修生や研究生、大学院入学前プログラム学生を含む。
- 4 学位取得型留学生数には正規課程登録学生数を、非学位取得型留学生数にはそれ以外（科目等履修生・聴講生・研究生・専攻科学生・別科学生）の学生数を掲げている。
- 5 2020 年冬学期のデータのみ。

出典：次のデータから筆者作成。

United States Immigration and Customs Enforcement (2021), Institute of International Education (2020)
Government of Canada (2021); Statistics Canada (2021)
Australian Government (2021)
文部科学省 (2020b)
German Academic Exchange Service (DAAD) & German Centre for Higher Education Research and Science Studies (DZHW) (2020, 2021).

日本の高等教育機関の留学生就学状況をより詳細に見てみると(表 2)、学位取得を目的としない留学生(科目等履修生・聴講生・研究生・専攻科学生・別科学生)は、2019 年から 2020 年にかけて 50% 近く減少しているが、それらの学生は実は留学生全体の中で少数であり、留学生の多くは学位取得を目的とした正規課程の留学生であることがわかる。

表 2 日本の大学における留学生数の推移 (2019・2020 年度)

		2019 年	2020 年	増減
大学 (UG)	大学合計	87,911 人	80,409 人	-8.5%
	学位取得型留学生 (学部)	67,949 人 (48%)	70,709 人 (53%)	+4.0%
	非学位取得型留学生 (科目等履修生・聴講生・研究生・専攻科学生・別科学生)	19,962 人 (14%)	9,700 人 (7%)	-51.4%
大学院 (PG)	大学院合計	52,654 人	53,164 人	+0.9%
	学位取得型留学生 (研究科)	47,205 人 (34%)	49,181 人 (37%)	+4.1%
	非学位取得型留学生 (科目等履修生・聴講生・研究生)	5,449 人 (4%)	3,983 人 (3%)	-26.9%
総計		140,565 人 (100%)	133,573 人 (100%)	-4.9%

出典：文部科学省 (2020b) のデータから筆者作成。

注：日本学生支援機構 (JASSO) から留学生に関する詳細な統計が公表されているが、ここでは、文部科学省の学校基本調査に基づく大学と大学院の留学生数を示している。従って、日本語学校、専修学校専門課程、短期大学、高等専門学校留学生数を含まない。

3. 数字の裏側：現場の声

こうした留学生数の変化の実態を知るために、筆者は、東京に所在する主要な留学生受入れ大学3校で国際事業を取りまとめる教職員4人にインタビューをおこなった。このうち2校は私立大学であり、1校は国立大学である。インタビューは2021年6月21日から24日にかけてオンラインでおこなった。それによると、私立大学2校では、ほとんどすべての国際交流プログラムがパンデミックにより急遽中止となったとのことだった。学生個人が直接に入学手続きを取る留学とは対照的に、国際交流プログラムは、交流学生数などを規定した大学間のフォーマルな取り決め(合意覚書、Memorandum of Agreement: MoA)に基づいて実施される。従って、これらのプログラムの中止により短期交流留学生の減少が予見されたが、交流プログラム再開の暁には、おそらく留学生数の回復が同様に予見される。国立大学でも同様に、交換留学の学生数が減少し、大学院の正規留学生数は増えているとのことであった。

日本において学位取得型の留学生数が比較的安定している理由の一つは、留学生自身が日本の留学にどのような価値を見出しているかにある。COVID-19下で日本への留学を決めた留学生の意思決定プロセスを理解するために、2020年秋から2021年春に日本の大学の博士課程と修士課程に入学した学位取得型留学生7人にインタビューをおこなった。インタビューの対象者は、日本の留学生統計(JASSO 2021)の特徴に合わせて、中国出身者を中心にアジア太平洋地域出身の留学生を選定した。また、このうち3人は生物科学専攻、4人は社会科学専攻である。インタビューは2021年6月3日から17日にかけてオンラインで実施した。インタビューに応じた学生のどれもが、パンデミックによって日本留学の魅力が増した訳ではないが、COVID-19が長年あためてきた日本留学の計画の大きな障害となるものでもなかったと述べている。このように留学生たちは日本留学を中止することはなく、日本の国際プログラムがある程度安定的なものであることがわかる。日本でなければどの国を留学先に選んだかとの問いに、中国人の学生は「日本でなければ...、多分中国を選ぶと思う。」と答え、日本以外の留学先は考えられないようであった。インタビュー時点で対象者の半分は、コロナ水際対策のためにまだ日本に入国できていないが、彼らはすでにオンラインで入学し、来日の有無にかかわらず日本の大学で学位プログラムを修了する決心をしている。来日して日本での留学を実際に体験できることが望ましいとしながらも、彼らにとって日本の大学で修士号や博士号を取得することが“留学体験”といった側面よりも重要なのである。ある学生は次のように説明している。「日本は中国人学生にとって、英国、カナダ、オーストラリア、米国といった西欧諸国ほど人気の留学先国ではないかもしれませんが、日本の高等教育には高い学術レベルや研究中心のイメージがあるので、中国の企業は日本の大学の学位を尊重しています。」

さらに、学生へのインタビューでは、日本との距離感が留学先の選定に重要な判断材料となりうることを示された。学生の多くは、母国と日本との物理的文化的近さを快適に感じると述べている。中国からのある留学生は、日本への大学院留学に先立って、広島で参加した短期の国際プログラムの思い出を語ってくれた。彼は、プログラムのなかで地域の祭りに参加した時、幼少時の中国の村の祭りを思い出し、それによってホームシックを乗り越えたというのであ

る。「それは本当に心に残る経験でした。」と言い、彼が感じた文化的近さが、日本留学の決心を後押ししたと言う。実際、地域内の学生移動はこれまでも拡大してきていたが、パンデミック後にはそれにいっそう拍車がかかるだろうと予測する研究者もおり (Pan 2020; Salmi 2020)、西欧諸国の一部では反アジア感情が拡大しているので、特にアジアにおいて顕著であろうとされている (Rzymiski and Nowicki 2020; Erasmus Student Network 2020)。ニュージーランドで修士号を取得した学生は、日本への留学を決めた理由のひとつに安全に関する懸念をあげている。「犯罪が多い国で、毎日毎日身の安全を気にし、両親も自分のことを心配しているようなら、勉強に身が入るでしょうか。勉強に集中することなどできません。」さらに、彼女は「自分の精神衛生上も不可能です」と付け加えた。

4. オンライン教育と今後の留学

このように、日本を留学先に選んだ学位取得型のアジア太平洋地域出身の学生は、安全、安定、そして学位の価値そのものを重視しているのである。このことは、オンライン授業へ移行しているにも関わらず日本の大学が留学生を減らさず惹きつけ続けている理由の一部ではないかと思われる。2020年4月末時点で、日本の800を超える大学(短期大学を含む)の99%近くがオンライン授業の実施を決定、または実施を検討中であった(文部科学省 2020c)。国際調査ではオンライン留学の是非についてはさまざまな意見が示されている。例えば、オンライン留学に対して通常の留学と同等の学費を負担すべきでないとする学生やキャンパスでの留学を諦めることができない学生もいる一方、パンデミックの終結が見通せない中、オンラインであっても留学を検討する学生も増えている。(Strods, Berka and Linney 2020; Svanholm 2020)。また、中国人留学生は、EU やインドや北アメリカの学生に比べてオンライン教育に抵抗感は少なかった(Quacquarelli Symonds 2020)。オンライン授業があったおかげで、留学生はビザの制限があるとしても自分の健康を危険にさらしたり留学計画を変更することなく、日本の大学の学位プログラムを開始し、継続し、修了することができた。このようにして、オンライン教育のおかげで学生は留学計画を予定通り実現することができた。

ここまで見てきたとおり、学位取得型留学生数はパンデミックのもとでも安定的に推移してきており、一方で、短期の交流型留学生数は交流プログラムの再開とともに回復することが予測され、結局のところ留学生数はパンデミック以前の水準に戻りそうである。しかし、上述したとおりの留学生のニーズを考慮すると、パンデミックが日本の留学生受け入れ事業に与えた最も深く長い影響はオンライン教育のさらなる進化と制度化ではないかと思われる。実際、インタビューした留学事業担当の教職員は、オンライン教育への取り組みがポスト・コロナの国際プログラムの目的や実施についての議論において最も中心的な論点だと述べている。オンライン教育のおかげで学生や教員は居住地に関わらず教育を中断せず継続することができ、さらに国内外の知識共有や協力も一層可能になった。その一方で、多くの大学にとっての課題は、オンライン教育の目的や意義を国内外向けの教育においてどのように規定して取り組んでいくかと、インタビュー回答者のひとりも答えている。オンライン・コースの提供を拡大することは、

日本の大学にとって世界の大学との国際的な競争にさらされることを意味し、言語の壁をどのように軽減するのか、“伝統的”教授スタイルと海外からの期待の間の緊張感をどのように対処するのかといった問題が生じている。49 校のスーパー・グローバル大学を対象にした 2020 年の調査によれば、オンラインやオンデマンドの方法を活用するうえでの、最大の課題 3 つは、オンラインでの国際教育や国際交流の質を確保すること、オンライン教育のための授業設計や教材開発の知識を得ること、そして投入する資金や労力に十分にみあう教育的効果をあげることであった(MEXT 2020a)。

今後のオンライン教育に関する他国のデータもまた不十分である。2021 年 6 月時点の米国の調査によると、414 校の高等教育機関の 57%は、オンライン国際教育プログラムを拡充する途上であった(Martel and Baer, 2021)。しかしながら、19,000 人以上の留学予定者を対象にした国際調査では、42%の学生がオンライン教育に全く興味がない、40%の学生が多少は興味があると答えており、パンデミックのもとでもオンライン教育は学生にとって留学の望ましい代替策になっていないことがわかる(Quacquarelli Symonds 2020)。さらに、現在、学生は徐々に教室に戻りつつある。上述の米国高等教育機関の調査でも、44%の学校が、2021 年春学期には授業に参加している留学生の少なくとも半数は対面授業を受けていると報告している(Martel and Baer 2021)。また、同様に日本においても、2021 年度には、政府の対面授業再開の方針をうけて、1,000 校以上の高等教育機関(短期大学と高等専門学校を含む)の 98%近くが少なくとも授業の半分を対面で行う計画を立てている(文部科学省 2021)。

こうした状況を考えると、ポスト・コロナ時代の日本における留学の意義や意味は変化しつつある。日本の留学生数の推移をみると学位取得型留学生への COVID-19 の影響は小さく、これは、留学生が安心や安定や学位取得の価値を重視している表れでもある。さらに、世界的な景気後退の初期の段階では、おそらくより高いレベルの学位を求める学生が増加するため、高等教育の学生数は拡大すると予測される(Hillman 2020)。しかし、急速なオンライン教育の普及は留学生にとって安全に学位を得る選択肢となりえる一方で、オンライン教育が今後きちんと理解され、体系化され、実施されていくのかどうか、どのようにそれが達成されるのか、さらにはパンデミックの進展につれ学生にとっての留学の価値が変わっていくのかどうかは、まだ明らかではない。

5. まとめ

日本留学の意味や意義についての再評価や再定義がおこなわれているこの時期に、留学経験による学生の成果についての健全な実証的研究成果を示していく必要がある。さらに、オンライン教育を選ぶことが可能になった現在、伝統的な留学に比べてオンラインによる国際化の効率や効果を明らかにする比較研究が早急に必要となっている。2020 年の日本のスーパー・グローバル大学を対象とした調査では、49 校のうち 90%近くが国際プログラムを見直して物理的な留学とオンライン教育をブレンドしたいと答える一方で、半数の大学はポスト・コロナ

時代の留学生派遣と受入においては量より質を重視する予定であると回答している(MEXT 2020a)。もしもこれが本当に日本の大学において一般的になるのであれば、学生の留学と大学における内なる国際化(internationalization at home)の取り組みをさらに連携させていくことがますます重要になっていくであろう。これは、Whalen(2020)の提案—留学はもはや学生が国境を越えることだと厳格に定義されるべきではなく、オンライン教育やオンライン留学や国内留学などを含んで、“学生の心の移動を促す活動”と定義されるべき—とも合致する状況である。オンライン教育の進展が日本留学の価値を再考するよい機会となり、さらにそのことが、世界の高等教育の発展や学术交流の促進への日本ならではの貢献につながることを期待する。

<参考文献>

- 文部科学省. (2020b). 学校基本調査. Accessed August 17, 2021 from <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00400001&tstat=000001011528&cycle=0&class1=000001148386&tclass2=000001148387&tclass3=000001148388&tclass4=000001148390&tclass5val=0>
- . (2020b). 新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について(令和2年4月24日時点). Accessed July 26, 2021 from https://www.mext.go.jp/content/20200424-mxt_kouhou01-000004520_10.pdf
- . (2021). 令和3年度前期の大学等における授業の実施方針等に関する調査の結果について(令和3年7月2日) Accessed July 26, 2021 from https://www.mext.go.jp/content/20210702-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf
- Australian Government. 2021. End of year summary of international student data 2020. Accessed May 20, 2021. <https://internationaleducation.gov.au/research/international-student-data/Pages/default.aspx>
- Baer, J. and M. Martel. 2020. Fall 2020 International Student Enrollment Snapshot. Institute of International Education. <https://www.iie.org/Research-and-Insights/Open-Doors/Fall-International-Enrollments-Snapshot-Reports>
- “Canada’s foreign enrolment fell nearly 17% in 2020.” 2021. ICEF Monitor, March 10, 2020. <https://monitor.icef.com/2021/03/canadas-foreign-enrolment-fell-nearly-20-in-2020/>
- Cheng, M. 2021. “Shifting trends in international student mobility: embracing diversity and responding to change.” <https://www.nafsa.org/sites/default/files/media/document/trends-insights-february-2021.pdf>
- Choudaha, R. 2021. “The fourth wave of international student mobility.” University World News. <https://www.universityworldnews.com/post.php?story=20210111083621946>
- “Closer to home: Intra-regional mobility in Asia.” 2019. ICEF Monitor, December 4, 2019. <https://monitor.icef.com/2019/12/closer-to-home-intra-regional-mobility-in-asia/>
- Durnin, M. 2020. “COVID-19 update: China survey results. British Council.” <https://education-services.britishcouncil.org/insights-blog/covid-19-update-china-survey-results>
- Erasmus Student Network. 2020. “Student Exchanges in Times of Crisis: Research report on the impact of COVID-19 on student exchanges in Europe.” <https://esn.org/covidimpact-report>
- Farbenblum, B. and L. Berg. 2020. “We might not be citizens but we are still people”: Australia’s disregard for the human rights of international students during COVID-19. *Australian Journal of Human Rights* 26 (3): 486-506.
- Firang, D. 2020. “The impact of COVID-19 pandemic on international students in Canada.” *International Social Work* 63 (6): 820-24.
- German Academic Exchange Service (DAAD) & German Centre for Higher Education Research and Science Studies (DZHW). 2020. *Wissenschaft weltoffen kompakt 2020*. [Facts and figures on the international nature of studies and research in Germany and worldwide]. http://www.wissenschaftweltoffen.de/publikation/wiwe_2020e_verlinkt.pdf
- . 2021. *Wissenschaft weltoffen kompakt 2021*. [Facts and figures on the international nature of studies and research in Germany and worldwide]. http://www.wissenschaftweltoffen.de/kompakt/wwo2021_kompakt_en.pdf
- Government of Canada. 2021. *Temporary Residents: Study Permit Holders – Monthly IRCC Updates – Canada – Study permit holders by province/territory of intended destination, study level and year in which permit(s) became effective*. Accessed August 2, 2021. <https://open.canada.ca/data/en/dataset/90115b00-f9b8-49e8-afa3-b4cff8faceae/resource/5d3a238a-3f06-4e55-b04b-d98acf1820da>

- Higher Education Statistics Agency. 2021. Where do HE students come from? Accessed November 10, 2021. <https://www.hesa.ac.uk/data-and-analysis/students/where-from>
- Hillman, N. 2020. "Covid-19 could be a curse for graduates but a boon for universities." *Times Higher Education*, April 2, 2020. <https://www.timeshighereducation.com/opinion/covid-19-could-be-curse-graduates-boon-universities>
- "How the pandemic is shaping the expectations and decisions of international students." 2021, ICEF Monitor, February. <https://monitor.icef.com/2021/02/how-the-pandemic-is-shaping-the-expectations-and-decisions-of-international-students/>
- Huang, F. 2016. "Changes and challenges to higher education financing in Japan." Centre for Global Higher Education working paper series; Working paper no. 10. London: UCL Institute of Education.
- Institute of International Education. 2020. International Students by Academic Level, 1999/00 - 2019/20. Open Doors Report on International Educational Exchange. Accessed August 10, 2021. <https://opendoorsdata.org/data/international-students/academic-level/>
- Institute of International Education. 2021. Germany. Accessed November 10, 2021. <https://www.iie.org/Research-and-Insights/Project-Atlas/Explore-Data/Germany>
- Ishikura, Y. and S. Kondo. 2020. "COVID-19 and its impact on study abroad in Japan." JAISE Rapid Communication on International Student Education1(1). <https://jaise.org/archives/670>
- Japan Student Services Organization (JASSO). 2021. Result of an Annual Survey of International Students in Japan 2020. Accessed June 1, 2021. https://www.studyinjapan.go.jp/en/_mt/2021/04/date2020z_e.pdf
- Kanwar, A., & A. Carr. 2020. "The impact of COVID-19 on international higher education: New models for the new normal." *Journal of Learning for Development* 7 (3): 326-33. <https://jl4d.org/index.php/ej14d/article/view/467/522>
- Lee, J. 2020. "Post-Covid futures in the studies of comparative and international higher education." In Oleksiyenko, A., Blanco, G., Hayhoe, R., Jackson, L., Lee, J., Metcalfe, A., Sivasubramaniam, M. & Zha, Q. "Comparative and international higher education in a new key? Thoughts on the post-pandemic prospects of scholarship." *Compare: A Journal of Comparative and International Education*. DOI: 10.1080/03057925.2020.1838121
- Marinoni, G., H. van't Land, and T. Jensen. 2020. "The Impact of COVID-19 on Higher Education Around the World: IAU Global Survey Report." Paris: International Association of Universities.
- Martel, M. and J. Baer. 2021. "Preparing for the Future: The Path Forward for International Educational Exchange." IIE COVID-19 Snapshot Survey Series, Report 4. Institute of International Education. <https://www.iie.org/en/Research-and-Insights/Publications/COVID-19-Effects-on-US-Higher-Education-Campuses-Report-4>
- Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT). 2020a. Questionnaire results (2nd). Accessed July 12, 2021. <https://tgu.mext.go.jp/en/symp02/pdf/2-2.pdf>
- Ministry of Education, The People's Republic of China. 2019. Statistical report on international students in China for 2018. Accessed May 20, 2021. http://en.moe.gov.cn/documents/reports/201904/t20190418_378692.html
- Mok, K.H., W. Xiong, G. Ke, and J.O.W. Cheung. 2021. "Impact of COVID-19 pandemic on international higher education and student mobility: Student perspectives from mainland China and Hong Kong." *International Journal of Educational Research* 105(101718). <https://doi.org/10.1016/j.ijer.2020.101718>.
- "New study anticipates shifts in enrolment and market share into 2021." 2020. ICEF Monitor, July 22, 2020. <https://monitor.icef.com/2020/07/new-study-anticipates-shifts-in-enrolment-and-market-share-into-2021/>
- Nguyen, O.T.K. and V.D. Balakrishnan. 2020. "International students in Australia – during and after COVID-19." *Higher Education Research & Development* 39 (7): 1372-76, DOI: 10.1080/07294360.2020.1825346

- OECD. 2021. “The state of higher education one year into the Covid-19 pandemic.” <https://www.oecd-ilibrary.org/docserver/83c41957-en.pdf?expires=1629075892&id=id&accname=guest&checksum=C21B7242C69C65D12C61A1725D2ED6E9>
- Quacquarelli Symonds. 2020. “How Covid-19 is Impacting Prospective International Students Across the Globe.” <https://www.qs.com/portfolio-items/how-covid-19-is-impacting-prospective-international-students-across-the-globe/>
- Rizvi, F. 2020. “Reimagining recovery for a more robust internationalization.” *Higher Education Research & Development* 39 (7): 1313-16.
- Ross, J. 2020. “Pandemic to redistribute international student flows: report.” *Times Higher Education*. <https://www.timeshighereducation.com/news/pandemic-redistribute-international-student-flows-report>
- Rzymiski, P. and M. Nowicki. 2020. “COVID-19-related prejudice toward Asian medical students: A consequence of SARS-CoV-2 fears in Poland.” *Journal of Infection and Public Health* 13: 873-76.
- Salmi, J. 2020. “Coping with the Present while Building a More Equitable Future.” Lumina Foundation. <https://www.luminafoundation.org/resource/covids-lessons-for-global-higher-education-2/>
- Schleicher, A. 2020. “The Impact of Covid-19 on Education: Insights from Education at a Glance 2020.” Organization for Economic Co-operation and Development.
- Statistics Canada. 2021. Table 37-10-0184-02 “Postsecondary international student enrolments, by International Standard Classification of Education and country of citizenship.” <https://doi.org/10.25318/3710018401-eng>
- Strods, C., A. Berka, and S. Linney. 2021. “Effective global mobility and international recruitment during a pandemic.” In *Radical Solutions for Education in a Crisis Context*, edited by D. Burgos et al., 53-67. Singapore: Springer Nature. https://doi.org/10.1007/978-981-15-7869-4_4
- Svanholm, A.G. 2020. “The impact of Covid-19 on study abroad: April 2020 survey results.” <https://institutions.educations.com/insights/student-survey-covid-19-and-study-abroad>
- Symonds, M. 2020. “Can international higher education survive Covid-19?” *Forbes*, June 22, 2020. <https://www.forbes.com/sites/mattsymonds/2020/06/22/can-international-higher-education-survive-covid-19/?sh=5cc26fe56a6d>
- UNESCO. 2021. “COVID-19: reopening and reimagining universities, survey on higher education through the UNESCO National Commissions.” <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000378174>
- United States Immigration and Customs Enforcement. 2021. “Student Exchange Visitor Program (SEVP) 2020 SEVIS by the Numbers Report.” <https://www.ice.gov/doclib/sevis/pdf/sevisBTN2020.pdf>
- Whalen, B. 2020. “Education abroad in a post-COVID world.” *Inside Higher Ed*, April 14, 2020. <https://www.insidehighered.com/views/2020/04/14/how-covid-19-will-change-education-abroad-american-students-opinion>
- World Bank. 2020. “The COVID-19 Crisis Response: Supporting tertiary education for continuity, adaptation, and innovation.” <https://openknowledge.worldbank.org/bitstream/handle/10986/34571/The-COVID-19-Crisis-Response-Supporting-Tertiary-Education-for-Continuity-Adaptation-and-Innovation.pdf?sequence=1&isAllowed=y>